

■ 第2回荒尾市総合計画審議会（令和元年8月30日開催）

【新・第5次荒尾市総合計画の総括(案)について】

- ・ 外国人観光客については国同士の関係性に影響されるところもあるが、**観光入込客数増加**に向け対策が必要である。
- ・ 空家バンクにおいても、築年数が経った空家の利活用がうまく進んでいない。購入者は若い世代が多いため、**空地**も扱っていくのが大事だと思う。
- ・ 近隣市町との間の人口移動はあまり気にせず、**住みやすさ**を売りにし、通勤先は他市町村であるが**居住地は本市である**、という人を増やすという方向性もあるのではないか。
- ・ 転居先として本市を選んだ理由で「行政サービスが充実している」を選んだ人が少ないため、母親に対して、**保育料や医療費に関する支援の情報を届ける**ことで、本市の魅力をアピールできるのではないか。
- ・ **広域連携による効率化**も必要であるが、まずは、単独で行うことと広域連携で行うことを明確にすることが必要である。
- ・ 在宅で医療を受ける人が多いという状況の中、今後、**介護需要を支える人材**が供給できるのか心配する。

■ 第3回荒尾市総合計画審議会（令和元年10月28日開催）

【第6次荒尾市総合計画(仮称)の将来像(案)・重点戦略(案)・基本目標(案)などについて】

- ・ **コミュニティの希薄化**が深刻化する中、**人のつながり**を充実させることについては市民の期待も感じる。
- ・ 地域内でのつながりの重要性については**職員自身が認識し、行動に移す**べきである。
- ・ 子育てには幼児教育も含まれるので、重点戦略の中に「**幼児教育**」という言葉を入れてもらいたい。
- ・ 将来的なUターンにつなげるためにも、子どもたちの**郷土愛**を育むための取組みが重要だと考える。
- ・ 現行計画におけるKPIの半分以上が未達成という状況なので、その部分への対応を考えた上で目標を設定してもらいたい。
- ・ 本市の強みや目指す方向性については共感するが、その実現のためには、**差別化を図ること**や、外に向かって**積極的に発信**することが大事だと思う。
- ・ 市外に進学する人の割合が多いため、**地元高校の魅力**を高めるとともに、学校の良さを積極的に発信してもらいたい。
- ・ **Society5.0**の到来で利便性は上がると思うが、一方でそれを享受できない人との差が出てくることも予想されるので、**格差の是正**に努めてもらいたい。